

2017年(H29年)

2月

No. 304

ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>
(メールアドレス) honbu@hitoha-fukushi.com



社会福祉法人 ひとは福祉会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

毎年1月になると、1.17として阪神大震災を学び直し、どう語り継ぐか、私たちは問い続けなければなりません。しかし、便利とスピードが求められる社会において、心れるスピードも大変なものです。「災害は忘れたころにやってくる」の格言は、振り返る余裕さえなくしている現実にもこそ当てはまる感があります。

福祉の現場はどうでしょう。実は津久井やまゆり園での惨劇があまりにも大きく、最近でいえば袖ヶ浦事件、大藤園事件も十分に振り返りができていないままに、いやもはや過去の問題になってしまい振り返りづらいやうとしていないのが現実ではないでしょうか。

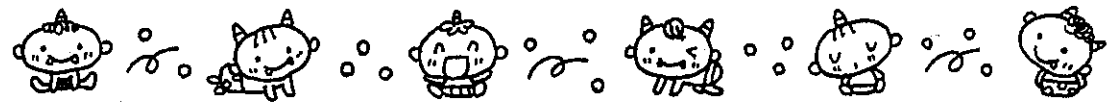
1990年前後にサン・グループという会社での虐待事件が起きてからまだ30年近くしかたっていないですが、なんと多くの人権侵害事件が起きていることか。そのことが危機になって法的にはいろいろと整備されましたが、現実には元職員による虐殺という痛ましい事件を起こさせてしまいました。

私はその根は同根であると思っています。事件が起きて、他人事となり、無関心を装い、わが身に宿る可能性に目を向けようとしなないことが、人災としての虐待事件を引き起こしてはいけない、猛省しなければなりません。

そのために、もう一度過去の事件を紐解いてみたいと思います。

天災は、起きるべくして起きるかもしれませんが、人災は防ぐ手立てを真摯に求めることが必要です。それ以外に、亡くなった人々たちへの追悼はたいと思っています。

(理事長 寺尾文尚)



初めて自治会きららの役員になった三上さん。役員の仕事として、一糸者に働くきららの意見を取りまとめます。「新年会で何かしたいことはありますか」と聞いてください、と横で言うと「何か」と言いながら、相手に手のひらを向ける仕事を見ることができました。

玄関での仕事を始めた竹内さん。「笑顔がいいですね」とお客様に褒められることがありました。困った時に「少々お待ちください」と言えるよう練習中です。

休みがちだった水附さん。丸一日ささき亭に来られないう日が少なくなりました。気持ちに波はあるものの、お客様がたくさん来てくれると一番張り切って仕事をしています。

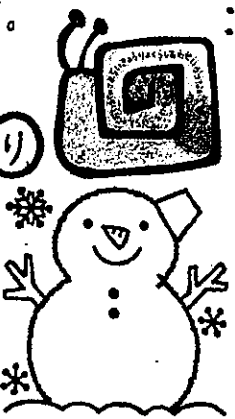
ささき亭内の時折ヒリヒリしている雰囲気を感じ、何とか和やかな空気にしようとする高森さん。どうにか笑顔になってもらおうと、めげずにあの言葉やこの言葉、体を使って訴えます。ある日、高森さんの口から出た言葉です。「怒っても怒っても笑顔」。私はこの言葉にほろりしました。

さて、今日も「召し上がれ」



行事予定

- 8(水) トールポイント教室(ささき亭)
- 11(土) ささき亭休み(建国記念の日)
- 17(金) あじさい横丁(クリスマスアージュ)
- 18(土) ひとは館マルシェ(ひとは館)



「賀状のニワトリの絵に胸ときめきました。額に入れて飾っております。」

三次市 福岡さんより おたよりを頂きました。ありがとうございます。



ある土曜開所日の昼休みのこと。あぶの周りを散歩して
 いると、ご近所の車屋さんの奥さんに出会った。
 「こんにちは」とあいさつすると「土曜日もあるんだね。
 ごくろう様」と声をかけてくださった。続けて「声をかける
 のが好きじゃけん、仲間に会うとついつい声かけるんよ」と
 おしゃった。
 地域の方があたたかく見守ってくださり、仲間に「車に
 気をつけてよ」と声をかけてくださる。ご近所さん、いつも
 ありがとうございます。

(就労センターあぶ 増野 奈緒)

ひとはの〇

毎朝決まった場所に座っている〇さん。
 「おはようございます。洗濯お願ひしま〜す」と大きな
 声であいさつをされます。途中出会うと「洗濯たんでくれた？」
 と声をかけられます。
 ある時洗濯の仕分けをそばから見ていた〇さんが「それ
 わしのじゃあない」と指摘をされ、〇さんすごい!と感心しました。
 凡張面な〇さんは洗濯物がとても気になるようです。
 (共同ホーム 三上喜佐恵)

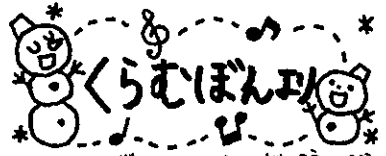


もしも、あの時...

息子10才の頃、ふれあいハイキングに参加させて
 もらったのが、ひとほどの出会いの始まりです。
 すう〜と繋がっていたかのような、温かい寺尾
 ファミリーのお人柄に、私たち家族は大ファンに
 なりました。
 遠い向原、深いおつきあいは難しく、ひとは
 つうしんを楽しみに元気をいただいております。
 息子のおかげで、すてきな、ワクワクする大切な
 出会いをさせてもらい感謝です。
 40才を迎えた息子も好きなおことを見つけて、
 自分づくりを楽しみ、家族の支えと多くの出会い
 自分で培った元気を少しでもお返しできよう、
 いで培った元気を少しでもお返しできよう、
 気持ちは大きく温かく、笑顔をお大切に過ごせ
 ることを目標にしています。



(広島市佐伯区 新谷悦子)



親子活動と保護者会を行いました

12月10日 土曜日に 親子活動として、地域にお住いの方を講師にお迎
 えし、スイーツデコ教室を開催しました。この日作ったのは、樹脂粘土を使った
 棒付きキャンディー。親子一緒に活動なので、子ども達の様子も普段とはちよと
 違い、家庭での一面を垣間見ることができました。
 後半は、親子分かれて保護者会。2グループに分かれ、茶話会形式で
 思い思いに話されました。少人数ずつに分かれたことで話題が出やすく、普段
 なかなか話ることのない保護者同士がつながれる機会になりました。
 (くらむぼん 白井くみこ)

